

沿革

- 昭22 5 3 学制改革により茨城県多賀郡磯原町立磯原中学校開校
初代校長 井上甚三
精華小学校において開講式挙行
- 22 5 5 精華, 明德両校教場において開校
- 23 3 23 第1回卒業式挙行
- 23 9 15 新校舎に移転
- 23 10 1 新校舎落成式
- 25 5 4 校歌制定
- 25 10 7 第2期工事新校舎落成式
- 30 4 1 二代校長 鈴木八衛 着任
- 30 4 5 第3期工事新校舎落成式
- 31 3 1 市町村合併により北茨城市立磯原中学校となる
- 36 4 1 三代校長 千葉胤勝 着任
- 37 7 10 鉄筋3階建新校舎落成
- 38 4 25 校旗制定
- 39 4 1 四代校長 山縣保 着任
- 42 4 1 五代校長 伊藤龍馬 着任 青少年赤十字加盟
- 43 3 31 特別教室4教室落成
- 44 4 1 六代校長 永山信 着任
- 45 2 2 増築2教室及び鉄筋2階建新校舎(2教室)落成
- 46 3 31 屋内体育館落成
- 46 10 1 創立記念日制定
- 47 4 1 七代校長 村田昇平 着任
- 50 4 1 八代校長 滑川秀夫 着任
- 52 4 1 九代校長 鷲孝行 着任
文部省指定「生徒指導研究推進校」(52, 53年度)
- 53 10 25 文部省指定「生徒指導研究推進校」発表
- 57 3 10 給食配膳室設備
- 57 4 1 十代校長 井坂善行 着任
- 60 4 1 十一代校長 松下英 着任
- 60 8 31 運動部室(6部室)完成
- 61 3 31 屋内体育館照明改修工事完了
- 62 2 28 屋内体育館暗幕設備完了
- 62 3 31 管理棟(第一棟)特別教室棟(第四棟)増改築工事完了
- 62 4 1 十二代校長 鈴木一 着任
- 62 9 1 屋内・屋外水洗便所改修工事完了
- 平元 4 3 前庭舗装工事完了
- 2 4 1 十三代校長 松崎豪夫 着任
- 2 7 16 プール施工
- 4 4 1 十四代校長 小西道房 着任
- 5 4 1 県教委指定「いきいきスクール調査研究事業」(5, 6年度)
- 6 4 1 県社会福祉協議会指定「ボランティア活動普及及び事業協力校」
(7, 8年度, 同市指定7, 8, 9年度)
- 6 8 31 第三棟校舎水道管全面交換
- 7 3 31 運動場全面整備
- 8 4 1 文部省指定「ティームティーチング研究(英語科)推進校」
(9年度)
- 9 4 1 十五代校長 小室直孝 着任
- 9 4 1 県教委指定「充実した学校生活(生徒指導)推進校」
(10, 11年度)
- 9 10 5 創立50周年記念式典
- 9 11 6 文部省研究指定校発表会(英語科)
- 10 4 1 市社会福祉協議会指定「ボランティア活動事業協力校」(再延長
12年度まで)
- 11 4 1 十六代校長 宮本信一 着任
- 11 8 29 屋内体育館床面改修工事完了
- 12 4 1 県教委指定「生徒指導総合支援事業推進校」
- 13 3 7 3年昇降口前通路改修工事
- 14 4 1 市教委指定「姉妹都市交流事業推進校」(中野市)
- 15 4 1 十七代校長 鈴木勝利 着任
県教委指定「生徒指導総合支援事業推進校」
体力づくり推進事業実践協力校(体力づくり奨励賞受賞)

平成23年度 学校要覧



北茨城市立磯原中学校

〒319-1543

北茨城市磯原町豊田556番地

TEL 0293-42-0116

FAX 0293-42-0894

- 16 2 27 第20回幡谷教育振興財団賞(理科教育助成金受賞)
- 16 4 1 県教委指定「学校体育研究推進校」
- 17 8 20 柔道場改修
- 18 4 1 十八代校長 村田悟 着任
- 18 9 28 県教委指定「学校体育研究推進校」完結発表
- 20 4 1 十九代校長 山形一男 着任
県青少年赤十字「研究推進指定校」
- 21 4 1 県教委指定「生徒指導総合支援事業推進校」
「弁当の日」開始
- 22 5 14 小中連携推進事業対象校
- 22 11 4 「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」に
よる講座型学習活動実施
- 23 4 1 二十代校長 鈴木一成 着任



校歌

外山 国彦 作詞作曲

一 あゝ黎明の東雲は
静かに流れて紅の
鹿島の海は今明けぬ
我が学舎の朝は来ぬ

二 澄み渡りゆく大空の
清く正しく大らけき
我等健児の大理想
いざ打ち立てん磯原に

昭和二十五年五月四日制定

平成23年度 磯原中学校教育グランドデザイン

本 県 教 育 の 目 標
ひとりひとりの能力を開発し、 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり、 たくましい心を養う 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

本 校 教 育 目 標
・一人一人が豊かに学ぶ力をつちかう ・郷土を愛し豊かな心をはぐくむ ・たくましく粘り強い心身を養う

本 市 教 育 目 標
健康な心身と 勤労を尊ぶ心を養う 自然を愛し 協力しあう心を育てる 進んで学び 創造性をつちかう

学 校 経 営 方 針

○生徒一人一人を主体とした経営 ○「教育は人なり」の理念に基づく経営 ○教育環境を整え、地域に根ざした経営

- 1 創意を生かした特色ある教育課程の編成に努め、目指す「学校像」の実現に向けた学校経営に努める。
- 2 人間としての在り方、生き方の指導の充実を図り、自らの進路を主体的に選択・決定し、自己実現を目指して行動する態度や能力の育成に努める。
- 3 生徒との「ふれあい」を重視し、生徒一人一人が意欲的に力を発揮できるよう、積極的な生徒指導に努める。
- 4 研修の充実を図り、「教職に対する強い情熱」「教育の専門家としての確かな力量」「総合的な人間力」の向上に努め、社会から尊敬され、信頼される質の高い教師を目指す。
- 5 学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力して教育を推進し、開かれた学校づくりに努める。

◎温かい人間関係構築をめざした学年・学級 経営

○「生徒がわかる授業」の実践と学ぶ意欲の育成 ○基本的生活習慣の確立と日常生活の充実（朝読書の継続） ○話し合い活動の重視（係活動、当番活動、学級活動の充実）
○学習意欲の向上と人権に配慮した教室環境（人的・物的）づくり ○学校・学年だより等の定期的発行（教育活動に関する情報提供と保護者の声の収集） ○ガイダンス機能の充実

こんな学校でありたい 学校像
○基礎・基本の確実な定着により、確かな学力を身に付ける学校 ○家庭・地域との連携を強化し、心豊かな生徒が育つ学校 ○生徒・保護者・地域がともにつくる特色ある学校

こんな生徒に育てたい 生徒像（磯中健児）
①深く考え、進んで創造する生徒（創造） ②豊かな心を持ち、進んで協力する生徒（協力） ③心身ともにたくましく、進んで実践する生徒（実践）

こんな教師でありたい 教師像
○授業の質の向上に努める教師 ○常に生徒にかかわろうとする教師 ○生徒と信頼関係を築こうとする教師 ○生徒を信頼する言動のとれる教師

学校研究課題 「基礎・基本を理解し、意欲的に課題に取り組む生徒の育成」—教科の特性に応じた効果的な指導法の工夫を通して—

「創造」への戦略 【磯中健児①の具現化】

◎「確かな学力」の保証

- ①基礎的・基本的な知識・技能の活用を図る学習活動の展開
- ②生徒の言語活動の充実
- ③個に応じた指導の充実
- ④学習意欲を引き出す授業の創造
- ⑤達成感を味わわせる授業の推進、ノート指導の強化
- ⑥板書の工夫
- ⑦学習習慣の確立に向けた意図的な指導

「協力」への戦略 【磯中健児②の具現化】

◎「豊かな心」の涵養

- ①居場所、出番がある楽しい学校づくり
- ②積極的な生徒指導の推進
- ③教育相談の定期的な実施とSCや「心の教室相談員」との連携
- ④共通理解を図るための生徒指導連絡協議会の実施
- ⑤生活（いじめ）調査の実施と早期対応
- ⑥朝読書の継続・充実

◎心に響き、心を耕す道徳教育の充実

- ⑦道徳の時間を核とした道徳教育の実践
- ⑧人権教育の推進

◎自主的・実践的な態度の育成を図る特別活動の推進

- ⑨社会性を育成するスキル教育の充実
- ⑩感動のある学校行事の実施

「実践」への戦略 【磯中健児③具現化】

◎「たくましい心身」の育成

- ①保健体育の授業の充実
- ②人間関係を深め、成就感の味わえる部活動
- ③養護教諭とのTTによる性教育
- ④食に関する指導の充実
- ⑤避難（防災）訓練（火災・地震・不審者）の実施
- ⑥学校保健委員会の開催

◎科学・情報教育の充実

- ⑦情報活用能力を育てるための指導の工夫

◎進路指導の充実

- ⑧夢をはぐくむキャリア教育の充実

◎学習環境の充実

- ⑨毎月の安全点検と補修、立哨指導

具体的な評価方法
①県学力診断テストで全教科県平均以上 ②言語活動の充実を目指した授業実践（計画訪問等） ③サクセスタイム（補充学習）の実施（年30回） ④校内授業研究会の実施（年3回） ⑤校内ノート展の実施（各教科年1回以上） ⑥訪問時に授業板書構成案の作成（随時） ⑦学習の手引きの活用と家庭学習ノート提出率70%以上

具体的な評価方法
①QUテストの実施、学級満足度調査90パーセント以上 ②生徒指導部委員会の定期的な開催（毎週1回） ③二者面談（年2回）三者面談（年1回）相談活動（随時） ④生徒指導連絡協議会の実施（月1回） ⑤生活調査の実施（月1回） ⑥みんなにすすめたい一冊の本（30冊以上25%以上 20冊以上70%以上12冊100%） ⑦道徳の授業公開（保護者参観日） ⑧人権コーナーの設置 ⑨携帯電話の安全利用教室の実施 ⑩ 事後アンケートの実施（満足度90%以上）

具体的な評価方法
①スポーツテスト結果A+Bが65%以上 ②練習参加率100% ③各学年とも年1回以上実施 ④各学年とも年2回以上実施 ⑤年3回実施 ⑥年1回開催 ⑦統計グラフコンクール、科学作品展、自由研究、発明工夫展等への積極的な参加 ⑧職業調べ、職場見学、職場体験等、高校体験入学 進路説明会の実施等段階的に実施 ⑨定期的な実施（月1回）

◎地域に信頼され開かれた学校づくりの推進

○授業の公開・行事公開（年8回以上）
○地域の教育力（人材・環境）の意図的・計画的活用
○学校評価（内部・外部・学校関係者評価）の実施と結果の公表及び改善
○父母と先生の会、学校評議員会、親父の会等との効果的な連携
○学校だより・保健だより等の定期的な発行
○地域行事や社会福祉施設での行事への積極的参加